

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 天水町公民館支館事業支援業務	支館活動を通じた町づくりの支援を行なう。	支援支館数	支館	3	3	3	3
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 支館独自事業実施回数	支館が実施した事業回数	回	6	7	7	7
			7	8	8	
2 支館事業参加者数	支館事業に参加した延べ人数	人	2,500	2,500	2,500	2,500
			2,455	2,742	2,247	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	支援を全て廃止すれば、文化事業やスポーツ・レクリエーションを通じた地域の交流の機会が減少する恐れがあり、活発な支館活動が展開できなくなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	体育祭等スポーツイベントの円滑で効率良い開催や運営を考えたときに、他の公民館と同様に、市スポーツ推進委員の支館組織への加入について、支館とともに検討したい。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
公平性	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<p>三支館合同で実施する事業はスポーツ行事が多いことから、現在は支館組織の構成員ではない市スポーツ推進委員の加入により、更に活発で充実した支館活動となることが期待できるため、支館会議等の場で支館とともに検討していく。</p>
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	支館活動を実施していくうえで人材を育成し今後自主的に運営できるように、支館に数多くの団体が参加し地域づくりを目指す必要がある。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	-----------------------------------------------------------------	----------------